

## 視機能評価をしてみよう③

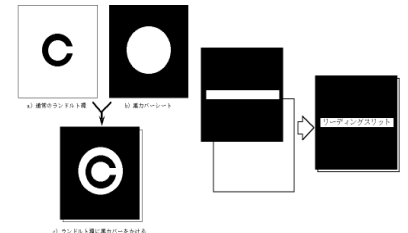
眼科での視力検査は、明るい照明下のもと、高コントラストの指標を用いて行なわれています。しかし、日常生活の中ではさまざまな視環境があり、視機能は変化します。教育では、その人の視機能を最大に発揮できる視環境を特定することも重要になってきます。

### こんな場面でチェックしよう!!!

- ☆照明を変化させて視力をチェック
- ☆白黒を反転させて視力をチェック
- ☆配色やコントラストを変えて視力をチェック
- ☆黒いリーディングスリットやカバーの効果をチェック
- ☆視距離を変えて視力をチェック



白黒反転による視力の変化



紙面の遮蔽でまぶしさを軽減させたときの視力や読書効率の変化

「読み間違いが多いな・・・」「見るときに顔が近いな・・・」「あまり注目しないな・・・。」  
こんなときには、視機能評価をして、よりよい視環境を考えてみましょう(^o^)

参考文献：ロービジョンケアの実際 視覚障害者のQOL向上のために 第2版 編集 高橋広

(杉山)

みくまの支援学校  
高等部1年生の…

## 進路学習

「進路学習」とは、本校の高等部教育の柱の1つであり、将来の生き方や生活、仕事について考え体験し、将来に向けての前向きな態度を育む学習です。進路学習として、1年生の3学期から「現場実習」があるため、12月から「現場実習事前学習」がありました！

### —現場実習事前学習のねらいと内容—

- ①地域の福祉事業所（作業所）の位置を知る。
  - ・教師作成の東牟婁地方の地図を利用して確認する。
- ②自分の実習先を知る。
  - ・実習先を写真等で確認する。
- ③通勤の方法について知る。
  - ・安全面や確実に通勤できる方法について考える。
- ④作業所内の「日課」について知る。
  - ・何時から何時まで働くのか知る。 ・作業内容や休憩について知る。
- ⑤作業に対する心構えについてわかる。
  - ・「心構えや気をつけること」などについて、自分達で考える。

そして、この2月からは1人2日間の「現場実習」が始まっており、個々によって、ねらいや活動は違います。また、実習先へは1人で向かう生徒もいます。

どの生徒も最初は大変緊張した様子でしたが、少しずつ慣れて、作業等に一生懸命取り組んでいました。これから2年生、3年生と現場実習の回数が増えていきます。ぜひ頑張ってくださいね。

(山下)